

外環道新規着手へ

国交省配分額は2兆635億円

09年度補正予算が成立

補正予算としては歳出規模が過去最大となる09年度補正予算が成立した。政府の追加経済対策の裏付けになる予算で、歳出総額は13兆9300億円。国土交通省の配分対象事業費は2兆0635億円で、内訳は、直轄分が1兆1729億円、補助分が8906億円。底力発揮や21世紀型インフラ整備、地域活性化、安全・安心確保などに向けた事業に取り組む。東京外かく環状道路（外環道）の新規着手を含めた「国土ミッシングリンクの結合」には2091億円が計上された。民間都市開発推進機構が、大規模都市再生プロジェクトや地方の優良都市開発事業に対して長期・低利の資金供給などを行ったため、都市開発資金貸付金と

補正予算として4000億円が盛り込まれた。道路分野における社会資本ストックの耐震化・予防保全対策には1384億円を計上。緊急輸送道路の橋梁の耐震対策などに取り組む。無電柱化の推進や連続立体交差事業などには4131億円が計上された。

羽田空港の機能強化を図るため、C滑走路を南側に約360m延伸し、大型機の就航を可能とする事業には66億円を盛り込んだ。

経済状況の急激な悪化により、停滞のおそれがある市街地再開発事業に対して緊急的に支援するため、128億円を計上した。

国交省の事業区分別配分額（事業費）は、次の通り。

▽治水	3756億円	対策	763億円	▽市街
▽海岸	359億円	▽道	地整備	1105億円
路整備	8167億円	▽道路環境整備	1150	
港湾	2590億円	▽空港	徳田	▽都市水環境整備
港	181億円	▽都市・	123億円	▽下水道
幹線鉄道	349億円	▽	85億円	▽都市公園
新幹線	1100億円	▽	43億円	▽官庁営繕
航路標識	79億円	▽住宅	86億円	